

# あいち農産物生産流通レポート

2025年2月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 岡崎市における有機農業産地づくりについて ～「オーガニックシティおかざき」について～	(西三河農林水産事務所) 1
◎ 東日本情報	
・ 首都圏で愛知の観光物産展が開催されました	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報	
・ あいちの伝統野菜振興事業について	(園芸農産課) 3
・ 2024年愛知県農業総合試験場の10大成果	(農業総合試験場) 5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	8
・ 名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し	9
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)	21

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

## 岡崎市における有機農業産地づくりについて ～ 「オーガニックシティおかざき」について ～

西三河農林水産事務所

岡崎市は、北から南に矢作川、東から西に乙川が流れ、また、その水源として市域の約6割にのぼる森林を有し、豊かな水源と自然環境に恵まれた地にあります。

これまで、その豊かな自然環境を活かして安全・安心な農産物が供給されてきましたが、昨今の気候変動等による環境問題、燃油や肥料の価格高騰に加え、特に中山間地域の担い手不足による耕作放棄地の増加など様々な問題が顕在化してきました。

このような中、農の持つ自然循環機能を活かし、食・環境・産業の好循環の実現を目指して、未利用の有機質資材の有効活用や化学肥料・農薬に依存しない有機農業の産地づくりに取り組んでいます。

### 1 オーガニックビレッジ宣言（オーガニックシティおかざき）

オーガニックビレッジとは、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のことをいい、全国で94市町村（県内4市町）がオーガニックビレッジ宣言をしています（令和6年11月時点）。

岡崎市では、有機農業の推進に向けた具体的な目標や方針を定めた「岡崎市有機農業実施計画～オーガニックシティおかざきプラン～」を策定し、令和6年3月にオーガニックビレッジ宣言を行いました。



オーガニックビレッジ宣言 (R6.3.26)

### 2 取組内容

生産（技術指導、竹パウダーによる土壌改良、有機質ペレットたい肥の試作、ドローンによる追肥実証、アイガモロボによる抑草実証等）から流通・加工・消費（販路開拓支援、学校給食への提供等）まで循環する持続可能な産地づくりの実現に向けた取組を行っています。

また、有機農業の担い手確保と社会的意義や魅力等が学べる場を創出することを目的として、令和6年9月に「おかざき有機農業塾」を開講しました。



有機農業技術指導



アイガモロボット実証



生産農家と児童との交流



「おかざき有機農業塾」開講

### 3 今後の展望

有機農業塾や市民農園の開設による人材育成及び消費者の有機農業産地づくりへの理解をさらに深め、販路や流通経路等の調整、有機給食の継続に取り組み、計画の最終年度となる令和10年度には有機農業面積100haを目指します。

## 首都圏で愛知の観光物産展が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025年1月18日（土）と19日（日）の2日間、神奈川県横浜市のクイーンズスクエア横浜で愛知の観光物産展「こってりだけじゃない！ディスカバー愛知フェア」（主催：愛知県観光コンベンション局観光振興課）が開催されました。

当グループは、本県産農産物の需要拡大のため、「愛知県農産物需要拡大推進協議会」（構成：本県、JAあいち経済連）の出展ブースを設けました。

## 1 多彩なイベントを実施、多くの人々が来場

本イベントは、県外の方々に向けて本県の多彩な食と観光の魅力をPRし、誘客を促すことを目的に関西圏と首都圏で毎年開催されています。今回の首都圏会場では、29の事業者・団体が出展し、本県の物産販売（ミニトマトなどの青果物、きしめん製品や八丁味噌などの加工食品）、観光PR（ポスター掲示、パンフレット配布）が行われました。

初日には大村知事がステージで挨拶し、本県の魅力を来場者にPRしました。また、2日間に渡り、ステージでは「徳川家康と服部半蔵忍者隊」、「名古屋おもてなし武将隊」、「PRINCESS SAMURAI of JAPAN あいち戦国姫隊」のパフォーマンス、ご当地キャラクター「はち丸」（名古屋市）、「あさぴー」（尾張旭市）、「まーちゃ」（西尾市）などによる観光PR、会場内では参加者に賞品をプレゼントするクイズラリー抽選会などが行われ、大人から子供まで多くの来場者で賑わいました。

## 2 出展ブースでは本県産農産物を紹介・販売

「愛知県農産物需要拡大推進協議会」は、おおば、なす（輝（かがやき）なす）、にんじん（へきなん美人）、うずら卵燻製（味噌味、醤油味）を紹介・販売しました。購入者からは、「こんなにツヤのあるなすを初めて見た」、「へきなん美人が甘いを知っている」などの声が聞かれ、本県産農産物について認知度拡大を図るとともに、首都圏で認知度が一定の水準にあることも確認できました。

今後も、愛知県産農産物の首都圏での消費拡大を目指し、様々なプロモーション活動を展開していきます。



多くの来場者で賑わう会場



ステージに登壇した大村知事（中央）



服部半蔵忍者隊などのパフォーマンス



愛知県農産物需要拡大推進協議会のブース

愛知県は古くから温暖な気候と豊かな水や土に恵まれ、野菜作りが盛んであったことから、尾張地域を中心とした種苗業者によって優れた品種が生み出されてきました。愛知県では、これらの野菜を歴史的・文化的地域資源と位置づけ、あいちの伝統野菜として2002年度から選定を開始しました。あいちの伝統野菜の産地維持や栽培技術の継承を図るため、2023年度からは国の交付金を活用し、あいちの伝統野菜振興事業に取り組んでいます。

### 1 あいちの伝統野菜としての選定

古くから野菜産地である愛知県では、①昭和30年頃には栽培されていたもの、②地名、人名など愛知県に由来しているもの、③今でも種や苗があるもの、④種や生産物が手に入るものを条件として、2002年度に21品目31品種を選定しました。その後、数回に渡り追加選定し、現在では37品目が選定されています。

### 2 イメージアップマークの作成

伝統野菜に関心をもってもらうため、伝統野菜を積んだ大八車を「信長・秀吉・家康」の三英傑が引いてくるイメージアップマークを作成しました。

このマークはあいちの伝統野菜の取組の趣旨に賛同いただける方であれば、所定の手続きにより、ご利用いただくことができます。使用に関する要領や申込書は下記ホームページをご覧ください。



### 3 あいちの伝統野菜振興事業について

2023年度から2025年度の3か年計画で、あいちの伝統野菜の消費者の認知度向上及び生産者の技術継承等に取り組むこととしています。

2023年度は、Webページをリニューアルし、37品目の詳細情報、生産者等へのインタビュー動画、料理研究家によるレシピ動画などを掲載しました。また、消費者の認知度や嗜好性を調査するためのアンケート調査などを行いました。

Webページアドレス <https://www.pref.aichi.jp/engei/dentoyasai/>

本年度は、伝統野菜が継承される体制づくりや消費者の理解度向上を目的として、栽培者向けの講習会、Webページの充実、パンフレットの作製、レシピ・加工品の開発を行っています。

次年度も、あいちの伝統野菜の種子の保存・継承体制づくりの推進と消費者の理解度向上のため、引き続きあいちの伝統野菜の振興に努めていきます。



## あいちの伝統野菜一覧(2024年現在)

品目	歴史	産地(当時を含む)
宮重だいこん	江戸	春日町
方領だいこん	江戸	甚目寺町
守口だいこん	昭和	扶桑町
八事五寸にんじん	大正	名古屋市
碧南鮮紅五寸にんじん	大正	碧南市
木之山五寸にんじん	大正	大府市
八名丸さといも	昭和	新城市
愛知本長なす	昭和	美和町
天狗なす	昭和	設楽町、東栄町、豊根村
青大きゅうり	昭和	尾張地域
ファーストトマト	昭和	豊橋市、宝飯郡、渥美地域
愛知縮緬かぼちゃ	昭和	大治町、大府市
渥美アールスメロン	昭和	渥美地域
落瓜	明治	江南市
金俵まくわうり	明治	江南市周辺、安城市
かりもり(堅瓜)	明治	清須市、大口町
早生かりもり	明治	尾張地域、刈谷市、碧南市
早生とうがん	明治	安城市ほか
野崎2号はくさい	大正	尾張地域
野崎中生キャベツ	大正	尾張地域、三河地域

品目	歴史	産地(当時を含む)
愛知大晩生キャベツ	昭和	名古屋市
餅菜(正月菜)	明治	尾張地域
大高菜	江戸	名古屋市
まつな	明治	甚目寺町
治郎丸ほうれんそう	大正	稲沢市
愛知白早生たまねぎ	明治	東海市
知多3号たまねぎ	昭和	大府市、南知多町
養父早生(知多早生)たまねぎ	昭和	東海市、知多市
越津ねぎ	江戸	尾張地域
法性寺ねぎ	明治	岡崎市
愛知早生ふき	明治	知多地域、稲沢市、愛西市
渥美白花絹莢えんどう	明治	渥美地域
十六ささげ	大正	愛西市、稲沢市
姫ささげ	明治	尾張地域
白花千石豆	明治	甚目寺町

### 2023年3月追加選定

品目	歴史	産地(当時を含む)
土田かぼちゃ	明治	清須市
徳重だいこん(宮重だいこんの 地方名)	昭和	名古屋市

## 2024年愛知県農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場

愛知県農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善のため、新しい品種や高度な栽培技術・飼養技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の皆様にご理解を深めていただくため、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものや社会的関心の高いものを各界の選定委員に選んでいただき、2024年の10大成果として公表しましたので紹介します。

## 1 2024年の10大成果

第1位	在来種よりも収穫期が約1ヶ月早いエゴマ新品種を開発！ －新品種で中山間地域の活性化を目指します－
第2位	名古屋コーチンで初めてヒナの羽根で雌雄鑑別が可能に！ －名古屋コーチン卵用新系統（NGY6）の開発－
第3位	暑くても味、色づきイイネ！👍 加温ハウス向けウンシュウミカンの新品種を開発！ －新品種でハウスミカン産地の更なる発展を－
第4位	「試交17-22」で高品質なナスをいっぱい獲ろう！ －ナス新品種「試交17-22」の栽培技術を確立－
第5位	石灰窒素でスクミリンゴガイも肥料も減らそう！ －石灰窒素を併用した水稻の全量基肥施肥体系を開発－
第6位	イチジクの生産性を維持しながらコストを低減します －L型元肥を活用した新たな施肥体系を開発－
第7位	コショウランの萎れは原因の解明と対策の実施で解決！ －輸送時の萎凋対策を確立－
第8位	「シャインマスカット」の房作り作業軽減技術を開発 －早期GA処理でより作りやすく－
第9位	作物の生育状態が一目でわかる！ －生育予測技術を開発（AgriLook愛知県版）－
第10位	フルメット液剤と果梗捻枝の組み合わせで収益UP！ －トマトの裂果対策技術の開発－

## 2 選定委員

あさかわ  
浅川  
いとう  
伊藤  
いのうえ  
井上  
よしだ  
吉田  
ばん  
伴

すすむ  
晋  
ひろやす  
博康  
たかし  
孝司  
のりこ  
典子  
みつあき  
充晃

名古屋大学大学院生命農学研究科 教授

株式会社CBCテレビ報道・情報制作局 専任部長

ポッカサッポロフード&amp;ビバレッジ株式会社 基盤技術研究所 副所長

愛知消費者協会 会長（以上、敬称略・五十音順）

愛知県農業総合試験場 場長

### 3 特徴・傾向

研究成果の中から選定委員が、「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の4項目について5段階で評価して10課題を選定しました。2024年の10大成果として選出された課題は、IT関連1・育種3・栽培管理3・環境配慮肥料管理2・輸送対策1と多岐にわたっており、いずれの成果も今日的な問題解決に資するものです。

今回は1位から3位までを独占した育種の成果を以下に紹介します。

第1位：エゴマの新品種「No.7」を開発しました。本品種は、本県で栽培されているエゴマの在来種「名倉(なぐら)」より収穫時期が早く、早霜の被害を回避できる他、収穫時期の分散により経営面積の拡大が可能となります。また、「名倉」よりも草丈が低く、茎が細いため、収穫しやすいことが特徴です。

第2位：名古屋コーチン卵用新系統(NGY6)を開発しました。新系統は、ヒナの羽根の形が遅羽性(羽根の伸長が遅い個体)であり、速羽性の系統との交配により、ヒナの雌雄を羽根の形状の違いから容易に鑑別できます。また、卵用として卵の見た目(卵殻色の改善、卵殻表面の「白斑点」出現確率向上)と産卵性も改善しました。

第3位：加温ハウス向けウンシュウミカンの新品種「C系統」をJA蒲郡市との共同研究で開発しました。「C系統」は既存品種の「宮川早生」より10日ほど着色が早くて果皮色が良好です。また、糖度、酸含量ともに「宮川早生」よりやや高く、食味の良い品種です。「C系統」の導入により生産者の収益の向上が期待されます。

### 4 公表

農業総合試験場のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>)で、10大成果の詳細がご覧いただけます。

#### 第1位

在来種よりも収穫期が約1ヶ月早い  
エゴマ新品種を開発！

—新品種で中山間地域の  
活性化を目指します—



#### 第3位

暑くても味、色づきイイネ！  
加温ハウス向けウンシュウ  
ミカンの新品種を開発！

—新品種でハウスミカン産地の  
更なる発展を—



#### 第2位

名古屋コーチンで初めて  
ヒナの羽根で雌雄鑑別が  
可能に！

—名古屋コーチン卵用新系統  
(NGY6)の開発—





## 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋市中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2024年実績	7,711	1,479 (19%)	480	310	香川 (25%) 愛知 (19%) 長野 (15%)
2025年見通し	7,500	—	480	—	長野 (15%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<b>【概要】</b> 2月は低温の影響もあり、引き続き、数量は少ないまま推移する見込み。3月上旬からは数量も増え、価格は下落するが、4、5月は平年並となる見込み。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年をわずかに下回る。 (△2.7%) 価 格：前年並。(0.0%)			適正な生産量を維持し、価格の安定につながる生産をお願いしたい。夏場の高温等に対応した生産体制を整え、安定した出荷をお願いしたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2024年実績	31,496	2,687 (9%)	468	306	北海道 (22%) 香 川 (16%) 熊 本 (12%)
2025年見通し	28,000	—	470	—	熊 本 (12%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<b>【概要】</b> 本県産は、育苗期や定植時の高温・乾燥による生育不良、9月の長雨による10～12月の黒すす病の発生により、年内入荷量は前年比5～6割で推移した。年明けも同程度で推移しており、気温が上昇するまで大きく増えないと見込まれる。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.1%) 価 格：前年並。(0.4%)			愛知県産は品質（ボリューム感、着色、鮮度）が高く、顧客からの評価も高いため、精度の高い出荷予定の情報発信に努めてほしい。 また、愛知県は京浜・中京・関西の大消費地の中心部にあり、運送・配送については大きな優位性がある。洋菜類・果菜類・大型野菜の混載によるセンター直送販売など、新たな取組を行うことで、産地・輸送会社・市場が三位一体となってコスト削減に努めていくことが大切である。		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2020年	33,713	194	196	190	愛知 27%	
	2021年	32,993	211	209	213	北海道 18%	
	2022年	30,405	246	231	252	茨城 11%	
	2023年	31,331	233	229	242	鹿児島 7%	
	2024年	30,250	239	241	246	静岡 6%	
	5カ年平均	31,738	224	—	—		
	2025年見通し	27,200	306	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<b>【産地状況】</b> 8月以降の天候不順から多くの野菜で生育が回復せず、引き続き入荷量は少ない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.1%) 価格：前年を大幅に上回る。(28.0%)						
だいこん	2020年	1,703	67	64	68	静岡 32%	
	2021年	1,897	74	81	71	千葉 23%	
	2022年	1,776	106	94	113	愛知 14%	
	2023年	1,658	92	95	91	鹿児島 12%	
	2024年	1,587	86	90	88	神奈川 10%	
	5カ年平均	1,724	85	85	86	90	
	2025年見通し	1,550	105	110	105	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<b>【産地状況】</b> 各産地高齢化やコスト高により面積減。年末年始の高値傾向により早採りや干ばつの影響で小玉傾向。低温のため下旬まで大幅な入荷増は見込めない。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(22.1%)						
にんじん	2020年	2,130	79	74	75	愛知 93%	
	2021年	2,071	133	123	131	鹿児島 4%	
	2022年	2,465	88	83	88	長崎 3%	
	2023年	2,204	118	120	112		
	2024年	2,035	112	106	116		
	5カ年平均	2,181	105	101	104	115	
	2025年見通し	1,800	160	155	160	165	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<b>【産地状況】</b> 8月以降の天候不順から生育不良。例年に比べ小ぶりのため、入荷量は少ない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.5%) 価格：前年を大幅に上回る。(42.9%)						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2020年	1 2 2, 0 3 7	2 1 6	213	220	215	茨城 17%
	2021年	1 1 4, 6 5 7	2 3 2	234	233	228	千葉 17%
	2022年	1 0 5, 3 4 4	2 6 4	253	271	269	北海道 11%
	2023年	1 0 4, 1 9 3	2 6 5	263	267	265	愛知 10%
	2024年	1 0 7, 5 5 9	2 6 5	260	267	270	神奈川 6%
	5カ年平均	1 1 0, 7 5 8	2 4 7	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1 0 0, 0 0 0	2 9 0	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
だいこん	2020年	1 1, 0 8 2	6 9	63	71	73	神奈川 55%
	2021年	9, 6 4 2	8 1	84	77	80	千葉 39%
	2022年	8, 7 4 6	1 0 7	93	113	118	静岡 2%
	2023年	8, 6 8 0	1 0 1	100	102	101	香川 1%
	2024年	8, 4 6 2	9 1	98	87	85	福岡 1%
	5カ年平均	9, 3 2 2	8 9	86	89	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	8, 5 0 0	1 0 0	100	100	100	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
にんじん	2020年	6, 0 0 9	1 1 8	115	113	126	千葉 73%
	2021年	5, 6 7 6	1 5 1	141	150	169	鹿児島 10%
	2022年	5, 9 5 1	9 4	87	96	100	埼玉 7%
	2023年	5, 9 5 4	1 2 6	126	128	125	茨城 4%
	2024年	5, 4 9 9	1 3 6	124	142	149	愛知 1%
	5カ年平均	5, 8 1 8	1 2 5	118	125	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	5, 0 0 0	1 9 0	180	200	190	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						

名古屋市中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2020年	2,608	60	58	54	70	茨城 61%
	2021年	2,948	50	51	49	51	兵庫 17%
	2022年	2,590	68	58	79	74	愛知 9%
	2023年	2,885	80	73	81	89	三重 8%
	2024年	2,597	78	74	76	91	長崎 2%
	5ヵ年平均	2,726	67	63	68	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	2,300	150	140	150	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 各産地生育が悪く、干ばつが継続すれば入荷量は少ない見込み。茨城は前倒し出荷で、終了が早くなる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.4%) 価格：高値だった前年を大幅に上回る。(92.3%)							
キャベツ	2020年	3,674	57	52	64	57	愛知 89%
	2021年	4,375	64	66	61	61	滋賀 4%
	2022年	3,823	94	93	98	93	三重 3%
	2023年	4,391	88	88	91	86	兵庫 1%
	2024年	3,921	79	77	86	77	熊本 1%
	5ヵ年平均	4,037	77	75	80	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	2,800	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 12月の干ばつにより生育不良となり、小玉傾向が続く見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△28.6%) 価格：前年を大幅に上回る。(153.2%)							
ほうれんそう	2020年	364	424	421	449	414	愛知 39%
	2021年	396	393	427	397	338	茨城 33%
	2022年	282	559	582	577	519	福岡 11%
	2023年	284	541	603	516	509	岐阜 8%
	2024年	329	441	455	454	413	群馬 4%
	5ヵ年平均	331	463	488	471	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	300	520	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 低温と干ばつにより生育の停滞がみられたが、気温の上昇と日射量の増加に伴い、中旬から下旬にかけて徐々に増える見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.8%) 価格：前年を大幅に上回る。(17.9%)							

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
はんぱい	2020年	12,222	51	46	48	60	茨城 82%
	2021年	12,635	31	33	29	31	群馬 11%
	2022年	12,531	51	40	61	56	兵庫 4%
	2023年	11,189	63	54	68	70	埼玉 2%
	2024年	10,668	67	61	61	86	和歌山 1%
	5ヵ年平均 2025年見通し	11,849 9,600	52 125	46 120	53 120	60 135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城産は、12月の干ばつの影響によりやや小玉傾向で、入荷量は下旬に向けて漸減する。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.0%) 価格：前年を大幅に上回る。(86.6%)							
キヤベツ	2020年	16,495	59	53	64	60	愛知 58%
	2021年	16,795	63	66	64	58	千葉 26%
	2022年	15,019	101	100	103	99	神奈川 12%
	2023年	14,417	95	99	93	91	静岡 2%
	2024年	14,186	82	78	85	83	茨城 1%
	5ヵ年平均 2025年見通し	15,382 13,000	79 180	78 180	81 180	77 180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 愛知を中心に入荷する。本県産は干ばつの影響により小玉傾向で、平年より少ない入荷が続く見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.4%) 価格：前年を大幅に上回る。(119.5%)							
ほうれんそう	2020年	1,703	403	393	460	362	茨城 41%
	2021年	1,773	374	424	358	321	群馬 35%
	2022年	1,344	518	535	557	461	埼玉 8%
	2023年	1,489	502	544	481	473	千葉 6%
	2024年	1,659	427	451	439	387	栃木 6%
	5ヵ年平均 2025年見通し	1,594 1,650	439 430	464 440	453 420	396 430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 茨城、群馬を中心に入荷する。茨城産は低温による出荷遅れが懸念される。群馬産は概ね生育順調で前年並を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.5%) 価格：前年並。(0.7%)							

名古屋市中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2020年	972	303	296	303	310	大分 31%
	2021年	780	450	440	447	475	静岡 18%
	2022年	853	389	352	405	424	群馬 9%
	2023年	896	365	373	354	366	茨城 7%
	2024年	795	413	416	413	405	愛知 6%
	5ヵ年平均	859	380	372	380	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	830	400	420	400	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 天候が良好なら各産地順調な出荷の見通し。少雨が続き、太物比率が低くなり、数量減となる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.4%) 価格：前年をやや下回る。(△3.1%)</p>
【産地状況】 天候が良好なら各産地順調な出荷の見通し。少雨が続き、太物比率が低くなり、数量減となる。							
しめじ	2020年	1,791	178	187	188	165	兵庫 31%
	2021年	1,605	187	212	191	154	熊本 16%
	2022年	1,271	295	313	303	267	静岡 15%
	2023年	1,458	272	298	267	254	茨城 13%
	2024年	1,488	215	233	220	195	愛知 10%
	5ヵ年平均	1,523	225	244	229	203	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,400	300	350	300	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 作柄悪く、厳冬期中、小玉傾向で入荷量は少ない見込み。中・下旬から茨城の春作が始まる。春らしい気候になれば荷動きは活発になる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.9%) 価格：前年を大幅に上回る。(39.5%)</p>
【産地状況】 作柄悪く、厳冬期中、小玉傾向で入荷量は少ない見込み。中・下旬から茨城の春作が始まる。春らしい気候になれば荷動きは活発になる。							
きゅうり	2020年	1,230	350	372	337	340	愛知 59%
	2021年	1,234	417	551	362	350	宮崎 18%
	2022年	1,210	374	433	357	329	鹿児島 12%
	2023年	1,018	417	470	382	389	高知 10%
	2024年	990	465	499	458	428	群馬 1%
	5ヵ年平均	1,136	402	464	376	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2025年見通し	1,000	426	480	400	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 上旬は節分のため、高値の見込み。生育は順調で安定した入荷を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.0%) 価格：前年をかなり下回る。(△8.4%)</p>
【産地状況】 上旬は節分のため、高値の見込み。生育は順調で安定した入荷を見込む。							

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2020年	4, 999	249	242	248	259	千葉 35%
	2021年	3, 922	517	496	514	553	埼玉 20%
	2022年	4, 365	339	295	369	364	茨城 17%
	2023年	4, 795	301	293	304	310	栃木 9%
	2024年	4, 486	385	384	373	400	群馬 8%
	5ヵ年平均 2025年見通し	4, 513 4, 350	351 380	335 380	354 380	369 380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 千葉、埼玉等を中心に入荷する。千葉、埼玉とも1月中旬の降雨と暖かさにより生育は回復し、太物中心の入荷が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.0%) 価格：前年並。(△1.3%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					
し	2020年	7, 736	168	172	177	155	静岡 28%
	2021年	6, 945	173	195	174	141	茨城 25%
	2022年	5, 439	291	317	300	253	香川 14%
	2023年	5, 959	261	281	260	239	長崎 10%
	2024年	6, 723	201	220	210	172	福岡 5%
	5ヵ年平均 2025年見通し	6, 560 6, 500	213 260	231 280	219 250	271 250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 静岡、茨城等を中心に入荷する。各産地とも生育順調で、入荷量は中旬以降に増加すると見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(29.4%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					
きゅう	2020年	4, 663	450	601	381	387	宮崎 38%
	2021年	4, 797	399	465	380	338	群馬 17%
	2022年	4, 186	417	450	429	371	千葉 16%
	2023年	4, 094	449	498	422	420	高知 11%
	2024年	4, 045	497	526	494	469	茨城 9%
	5ヵ年平均 2025年見通し	4, 357 3, 900	441 470	509 500	419 460	395 450	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 宮崎、群馬等を中心に入荷する。各産地とも生育順調。宮崎産は、天候次第であるが安定した入荷が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.6%) 価格：前年をやや下回る。(△5.4%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					

名古屋市中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な ぎ	2020年	448	444	455	442	439	熊本 63%
	2021年	428	419	450	414	392	愛知 35%
	2022年	355	405	395	405	416	高知 2%
	2023年	350	461	478	471	438	
	2024年	406	448	467	445	436	
	5ヵ年平均	397	435	450	435	424	
	2025年見通し	380	460	460	460	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の 入荷量・価格の動き
<b>【産地状況】</b> 1月末から2月上旬にかけて数量は回復するが、作柄が良くないため、大きな増量にはつながらない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.4%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.7%)							
ト マト	2020年	1,075	361	386	357	346	熊本 46%
	2021年	1,072	258	244	265	274	愛知 26%
	2022年	842	309	298	317	320	岐阜 15%
	2023年	943	340	339	336	353	三重 11%
	2024年	1,073	315	307	310	336	大分 2%
	5ヵ年平均	1,001	316	315	317	325	
	2025年見通し	860	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の 入荷量・価格の動き
<b>【産地状況】</b> 定植時の高温による生育不良が回復しておらず、出荷量は少ない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年を大幅に下回る。(△19.9%) 価格：前年を大幅に上回る。(27.0%)							
ミ ニ ト マト	2020年	427	741	789	713	733	熊本 72%
	2021年	477	591	565	608	602	愛知 21%
	2022年	512	635	610	645	659	和歌山 3%
	2023年	427	721	727	692	757	宮崎 2%
	2024年	467	670	609	688	739	
	5ヵ年平均	462	668	655	667	695	
	2025年見通し	430	780	800	780	760	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							前年及び本年の 入荷量・価格の動き
<b>【産地状況】</b> 各産地とも作柄が良くない中、厳冬期となり、入荷量は少ない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.9%) 価格：前年を大幅に上回る。(16.4%)							

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2020年	2, 1 2 6	4 9 1	509	480	486	高知 63%
	2021年	2, 2 9 8	4 7 0	527	451	432	福岡 20%
	2022年	2, 0 4 7	4 6 7	452	475	474	熊本 10%
	2023年	1, 9 7 0	4 8 3	551	473	440	佐賀 2%
	2024年	2, 0 3 2	4 9 4	509	498	473	栃木 2%
	5ヵ年平均 2025年見通し	2, 0 9 5 1, 9 0 0	4 8 1 5 0 0	510 500	475 500	461 500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 高知を中心に入荷する。高知産は、気温の上昇と日射量の増加とともに入荷量が漸増する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.5%) 価格：前年並。(1.2%)</p>						月
ト	2020年	4, 7 9 6	4 2 8	442	425	416	熊本 32%
	2021年	5, 4 4 8	3 1 3	297	323	323	栃木 24%
	2022年	4, 5 9 9	3 6 8	356	374	376	愛知 14%
	2023年	4, 4 8 7	4 0 0	397	397	409	茨城 6%
	2024年	4, 8 9 7	3 7 7	370	373	390	静岡 4%
	5ヵ年平均 2025年見通し	4, 8 4 5 4, 4 0 0	3 7 5 4 0 0	370 390	377 390	381 420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 熊本、栃木等を中心に入荷する。熊本産は着果のばらつきや着色鈍化が見られる。栃木産は生育順調で着果と果実肥大が良い。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.1%) 価格：前年をかなり上回る。(6.1%)</p>						月
ミ	2020年	1, 5 0 7	7 4 2	793	709	717	熊本 46%
	2021年	1, 7 2 9	5 6 4	553	571	571	愛知 17%
	2022年	1, 6 3 6	6 2 3	631	634	605	千葉 10%
	2023年	1, 4 9 9	7 2 2	732	680	761	宮崎 10%
	2024年	1, 6 2 3	6 6 1	602	683	716	静岡 6%
	5ヵ年平均 2025年見通し	1, 5 9 9 1, 5 5 0	6 5 9 6 5 0	658 640	653 640	671 670	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。入荷量は、上中旬は着果不良で少ないが、下旬は花数の多い収穫段となり増量が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.5%) 価格：前年並。(△1.7%)</p>						月

名古屋市中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	323	824	810	812	790	鹿児島 63%
	2021年	382	696	725	694	670	宮崎 22%
	2022年	326	773	755	794	737	高知 15%
	2023年	327	778	777	794	800	
	2024年	315	782	761	809	825	
	5カ年平均	335	768	764	777	761	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	310	790	770	800	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 厳冬期になり肥大スピードが遅く、数量は多くない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年並。(△1.6%) 価格：前年並。(1.0%)							
ばれいしょ	2020年	3,150	99	87	106	104	鹿児島 54%
	2021年	2,376	250	231	253	279	北海道 43%
	2022年	2,555	262	249	262	277	長崎 4%
	2023年	2,714	168	152	169	178	
	2024年	2,531	167	155	178	170	
	5カ年平均	2,665	184	170	189	196	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	2,400	220	200	220	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 北海道は貯蔵出荷で早めの切り上がりが予想される。鹿児島・長崎は小玉傾向で例年より少ない見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年やや下回る。(△5.2%) 価格：前年を大幅に上回る。(31.7%)							
たまねぎ	2020年	6,922	78	83	75	78	北海道 81%
	2021年	6,174	89	87	89	97	静岡 15%
	2022年	5,293	170	155	179	187	愛知 1%
	2023年	5,608	118	117	132	110	兵庫 1%
	2024年	4,832	158	197	170	154	中国 1%
	5カ年平均	5,766	118	123	124	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	4,650	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 北海道の貯蔵物の残量が前年より少ない。静岡、愛知ともに生育遅れのため、小玉傾向。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をやや下回る。(△3.8%) 価格：前年並。(1.3%)							

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2020年	1, 277	838	823	827	651	宮崎 41%
	2021年	1, 513	733	782	721	684	茨城 26%
	2022年	1, 375	795	813	837	733	鹿児島 16%
	2023年	1, 410	825	829	819	826	高知 15%
	2024年	1, 588	767	766	766	769	沖縄 2%
	5ヵ年平均	1, 433	789	801	791	734	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	1, 600	780	760	800	780	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 宮崎、茨城等を中心に入荷する。各産地とも生育は概ね順調。中旬以降は宮崎産が減少するため、相場の上昇が見込まれる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.8%) 価格：前年並。(1.7%)							
ばれいしょ	2020年	8, 286	90	87	90	94	北海道 65%
	2021年	6, 300	235	233	235	241	鹿児島 33%
	2022年	6, 341	252	247	253	257	長崎 2%
	2023年	6, 958	152	152	149	156	
	2024年	7, 560	138	136	145	132	
	5ヵ年平均	7, 089	167	165	168	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	6, 900	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産は残量が少なく、鹿児島産は小玉傾向で入荷量は少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(66.7%)							
たまねぎ	2020年	11, 194	82	87	82	78	北海道 70%
	2021年	9, 993	105	105	104	107	静岡 24%
	2022年	8, 470	208	200	208	219	中国 4%
	2023年	9, 331	137	136	139	136	長崎 2%
	2024年	8, 695	186	194	187	174	千葉 1%
	5ヵ年平均	9, 537	139	140	139	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2025年見通し	7, 900	160	180	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)			単価(円/Kg)		
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産、静岡産はともに小玉傾向で、Lサイズ中心の入荷となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△9.1%) 価格：前年をかなり下回る。(△14.0%)							

名古屋市中央卸売市場

1月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	7,083	427	406	421	フィリピン 18%	
	2021年	7,865	402	389	410	青森 17%	
	2022年	7,075	464	439	476	静岡 15%	
	2023年	8,038	434	421	442	愛媛 11%	
	2024年	7,186	501	478	509	愛知 9%	
	5カ年平均	7,449	445	—	—		
2025年見通し	6,300	530	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 かんきつ、りんご、いちごなどが主な品目となる。かんきつ、キウイフルーツは夏場の高温等の影響により不作となり、入荷量が少ない。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△12.3%) 価格：前年をやや上回る。(5.8%)</p>						
りんご	2020年	1,494	329	327	328	336	青森 99%
	2021年	1,929	263	272	259	264	秋田 1%
	2022年	1,366	364	359	367	368	
	2023年	1,799	299	294	302	298	
	2024年	1,238	435	445	423	437	
	5カ年平均	1,565	329	330	327	331	
2025年見通し	1,250	500	500	500	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 春節向けの輸出が落ち着いたことから、国内向けの出荷が増える。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.0%) 価格：前年をかなり上回る。(14.9%)</p>						
いちご	2020年	774	1,360	1,538	1,348	1,218	愛知 61%
	2021年	784	1,420	1,415	1,431	1,413	熊本 23%
	2022年	723	1,590	1,845	1,616	1,378	鹿児島 7%
	2023年	649	1,577	1,612	1,533	1,597	佐賀 2%
	2024年	685	1,675	1,612	1,533	1,597	福岡 2%
	5カ年平均	723	1,518	1,600	1,488	1,432	
2025年見通し	670	1,600	1,650	1,550	1,500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 上旬から2番果実のピークとなるが、苗の状態が悪く、例年より少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.2%) 価格：前年をやや下回る。(△4.5%)</p>						

東京都中央卸売市場

1月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2020年	33,065	483	464	486	506	青森 17%
	2021年	32,198	494	484	500	498	静岡 16%
	2022年	34,315	468	449	474	492	愛媛 14%
	2023年	30,205	540	506	548	581	栃木 8%
	2024年	29,730	606	561	633	647	熊本 8%
	5ヵ年平均	31,903	516	—	—	—	
2025年見通し	28,700	620	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】りんご、みかん、いちごを中心に入荷。りんご、かんきつ、キウイフルーツなど入荷量は前年を下回る見込み。</p> <p>【概況見通し】                      入荷量：前年をやや下回る。(△3.5%)                      価格：前年をわずかに上回る。(2.3%)</p>						
りんご	2020年	6,610	277	280	280	272	青森 96%
	2021年	5,828	344	346	343	344	長野 2%
	2022年	7,009	274	277	272	272	山形 1%
	2023年	5,334	362	360	361	364	
	2024年	5,153	418	417	414	425	
	5ヵ年平均	5,987	329	330	328	329	
2025年見通し	4,950	427	425	425	430	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
ご	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】青森を中心に入荷する。「サンふじ」は夏期高温の影響で入荷量は少なくなる見込み。</p> <p>【概況見通し】                      入荷量：前年をやや下回る。(△3.9%)                      価格：前年をわずかに上回る。(2.2%)</p>						
いちご	2020年	4,112	1,513	1,489	1,521	1,530	栃木 54%
	2021年	4,648	1,431	1,627	1,401	1,288	茨城 11%
	2022年	4,630	1,411	1,415	1,413	1,403	福岡 11%
	2023年	4,550	1,533	1,619	1,553	1,436	静岡 9%
	2024年	4,509	1,615	1,635	1,611	1,599	長崎 5%
	5ヵ年平均	4,490	1,500	1,558	1,498	1,449	
2025年見通し	4,550	1,660	1,700	1,650	1,630	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
ご	産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】栃木を中心に入荷する。主要産地の2番果の入荷がピークとなり、入荷量が増加し相場は下がる見込み。</p> <p>【概況見通し】                      入荷量：前年並。(0.9%)                      価格：前年をわずかに上回る。(2.8%)</p>						

# 切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2020年	1, 264	43	
		2021年	810	31	
		2022年	1, 068	50	
		2023年	856	73	
		2024年	1, 215	59	
	5カ年平均		1, 043	51	
	2025年見通し		1, 000	65	
概要	愛知中心に入荷。月を通して入荷は多くない。葬儀需要の上位等級を中心に引き合いが強くなり、相場も強いまま推移する見込み。				
小 ぎ	実績	2020年	870	31	
		2021年	445	34	
		2022年	714	32	
		2023年	592	50	
		2024年	714	32	
	5カ年平均		667	35	
	2025年見通し		600	50	
概要	沖縄中心の入荷。寒さの影響もあり、開花遅れが見られ、中旬までは入荷も少なそう。色バランスも悪い状態が続きそうで、平年より強い相場展開の動きとなりそう。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2020年	850	42	
		2021年	604	35	
		2022年	795	44	
		2023年	544	111	
		2024年	795	44	
	5カ年平均		718	52	
	2025年見通し		700	50	
概要	愛知中心に入荷。国産は例年の80%程度の出荷予想。輸入品は為替の影響もあり、前年で大きく増える見込みはない。フラワーバレンタインや月末の卒業式需要で引き合いが強くなる見込み。				
か す み	実績	2020年	145	76	
		2021年	118	52	
		2022年	119	106	
		2023年	158	99	
		2024年	119	106	
	5カ年平均		132	88	
	2025年見通し		120	105	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷。気温が低めで推移すれば、入荷は少ない見込みだが、高温で推移して前進傾向になると2月の出荷が増え、3月の出荷がかなり少なくなる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	2020年	235	163	
		2021年	133	163	
		2022年	191	181	
		2023年	189	218	
		2024年	191	181	
	5カ年平均		188	181	
	2025年見通し		180	200	
概要	オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷となる。作付減により入荷量は多くなく、ダラダラとした入荷となる見込み。LA、鉄砲も同様に少なめの入荷となりそう。				
洋 ら ん	実績	2020年	362	87	
		2021年	161	96	
		2022年	255	115	
		2023年	221	153	
		2024年	254	116	
	5カ年平均		251	111	
	2025年見通し		250	120	
概要	高知、徳島、愛知、鹿児島産の国産物や輸入物が入荷する。デンファレは旧正月の影響で入荷減の見込み。オンシジウムも旧正月の影響で少なく、上中旬にかけて特に減少する見込み。シンビジウムは徳島中心に入荷し、単価次第で増減。コショウランは春節が明けてから増加の見込み。カトレアは気温上昇につれ、入荷は微増してくる。				
ば ら	実績	2020年	508	87	
		2021年	310	83	
		2022年	485	91	
		2023年	544	111	
		2024年	485	91	
	5カ年平均		466	94	
	2025年見通し		470	95	
概要	愛知、岐阜、三重中心。相変わらず品種の増減はあるが、例年より若干減の予想。フラワーバレンタイン及び月末の卒業式需要に期待。				
枝 も の	実績	2020年	1,363	51	
		2021年	787	54	
		2022年	1,216	59	
		2023年	1,225	65	
		2024年	1,215	59	
	5カ年平均		1,161	58	
	2025年見通し		1,150	60	
概要	花桃、ミモザの出荷始まる。静岡の花桃は昨年より少なく、茨城や関西方面の入荷は例年通り。ミモザは静岡を中心に例年並の入荷量が見込まれる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 績	実 績	2020年	6,470	245	
		2021年	4,463	255	
		2022年	4,515	222	
		2023年	3,299	261	
		2024年	1,271	373	
	5ヵ年平均	4,004	253		
	2025年見通し	1,200	350		
カ	概要	<p>入荷量は前年より減少か。生産者が減少しており、入荷増は見込めない。サイズとしては3号ポットが中心となる。寒さの影響で花物の品薄感が強くなることが予想されるため、単価は堅調に推移する見込み。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位新潟（72.2%）、2位山梨（22.2%）、3位愛知（4.6%）となっている。</p>			
プ 績	実 績	2020年	210,600	85	
		2021年	198,013	109	
		2022年	193,882	84	
		2023年	156,603	116	
		2024年	142,852	121	
	5ヵ年平均	180,390	101		
	2025年見通し	140,000	121		
ラ	概要	<p>入荷量は前年並か。生産量は減っているが前年秋からの天候不順により1月出荷分が2月にずれ込んでいる。そのため、2月は前年並の入荷見込み。プリムラは鉢物向きのポリアンと花壇向きのジュリアンとあるが、夏から秋の暑さの影響でジュリアンは少し減少する見込み。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（43.9%）、2位埼玉（15.3%）、3位奈良（7.8%）となっている。</p>			
チ 績	実 績	2020年	30,814	140	
		2021年	30,545	198	
		2022年	33,774	182	
		2023年	32,660	193	
		2024年	34,259	186	
	5ヵ年平均	32,410	180		
	2025年見通し	32,000	180		
ツ	概要	<p>入荷量は前年より減少か。球根は海外から仕入れるため、今期は円安の影響で仕入れ自体が減少している。暖房費等の高騰で、入荷は例年に比べると遅い見込みで、サイズは前年同様4号、5号がメインとなる。</p> <p>前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（37.7%）、2位埼玉（18.7%）、3位茨城（17.2%）となっている。</p>			

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2020年	43,860	260	
		2021年	49,629	292	
		2022年	41,473	257	
		2023年	27,872	325	
		2024年	37,819	321	
	5カ年平均		40,131	288	
	2025年見通し		35,000	320	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少か。需要の少ない2月の生産量は大きく減少しているが、開花遅れで1月出荷分が2月にずれ込むため、生産量の減少分ほどは入荷量は減少しない見込み。卒業・卒園等の需要が高まる2月下旬から3月上旬頃までは相場は前年並の見込み。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位香川(35.7%)、2位埼玉(27.0%)、3位愛知(7.7%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	2020年	52,516	200	
		2021年	51,479	208	
		2022年	44,105	212	
		2023年	41,277	225	
		2024年	49,885	233	
	5カ年平均		47,852	215	
	2025年見通し		45,000	233	
概要	<p>入荷量は大幅に減少か。前年の気温の高さが影響しており、開花が遅れている。痛み等は少ないため、全体的に遅れて入荷が増える見通し。単価は前年並の見込み。前年2月の主要県の集荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(22.6%)、2位岐阜(22.5%)、3位埼玉(17.2%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	2020年	20,587	602	
		2021年	15,034	718	
		2022年	16,678	641	
		2023年	15,621	693	
		2024年	14,519	691	
	5カ年平均		16,488	664	
	2025年見通し		14,000	700	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。山上げしていない分の開花が遅れており、山上げ分との合間で2月上旬が少なくなる見込み。サイズとしては、4～6号が中心になる見込み。咲き前で蕾がある状態での出荷が望まれる。前年2月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(44.1%)、2位高知(24.0%)、3位岡山(13.4%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.620  
2025年2月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434